



事業報告書

(自)令和 2年 4月 1日
(至)令和 3年 3月31日

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会

目 次

【重点目標に対する経過報告】	4
【法人運営・管理】	4
1. 総務部門	
2. 労務管理部門	
3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営	
4. 共同募金関係	
【地域福祉事業】	9
1. 相談事業	
2. 貸付事業	
3. 相互援助事業	
4. 生活支援事業	
5. 社会参加・交流事業	
6. 助成金交付事業	
7. 災害・緊急支援事業	
【ボランティアセンター事業】	20
1. 相談・登録・紹介	
2. 広報・啓発	
3. 参加・育成	
4. ボランティアの連携・交流	
【介護保険等事業】	24
1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業	
2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業	
3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業	
【障害者総合支援事業】	25
1. 居宅介護事業	
2. 重度訪問介護事業・行動援護事業	
3. 生活介護事業	
4. 就労移行支援事業	
5. 相談支援事業	
6. 障害者日中一時支援事業	

令和2年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大は、暮らしと経済を直撃し、緊急事態宣言が発出されるなど、私たちの生活が大きく変わりました。

このような状況の中、新型コロナウイルスの影響により収入が減少し生活に困窮した世帯に対し、生活費の貸付や賃貸住宅の家賃の給付等を通じて生活の支援を行いました。

また、多くの事業が自粛や縮小、休止を余儀なくされましたが、感染拡大防止に留意し地域や市民のニーズに寄り添いながら事業を実施しましたので報告いたします。

【重点目標に対する経過報告】

近年、全国的に発生している自然災害に備えるため、令和元年度に策定した災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、発災後の初期動作を迅速に行えるようにするため、社協職員を対象とし災害ボランティアセンターの設置及び運営訓練を行いました。

支部長連絡会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができませんでした。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1)理事会・評議員会の開催

①理事会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和2年 6月19日	下妻市役所	・理事の推薦について ・評議員候補者の推薦について ・令和元年度事業報告について ・令和元年度会計収入支出決算について ・監事の監査報告について ・定時評議員会の招集について ・会長及び常務理事の職務執行状況について
2	令和2年 8月21日	※書面決議による開催	・定款の一部改正について ・評議員会の開催について

3	令和3年 3月15日	下妻公民館	・令和2年度会計収入支出補正予算（案）について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの 生活介護事業運営規程の制定について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度社会福祉法人会計収入支出予算（案）について ・評議員会の招集について ・会長及び常務理事の職務執行状況について
---	---------------	-------	--

②評議員会

回数	開 催	会 場	議 事
1	令和2年 6月26日	下妻市役所	・令和元年度事業報告について ・令和元年度会計収入支出決算について ・理事の選任について
2	令和2年 9月4日	※書面決議による開催	・定款の一部改正について
3	令和3年 3月26日	下妻公民館	・令和2年度会計収入支出補正予算（案）について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの 生活介護事業運営規程の制定について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度会計収入支出予算（案）について

(2) 苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
ぷらっとほーむ	0 件	0 件	0 件	0 件
砂沼荘	0 件	0 件	0 件	0 件
社協ケアセンター	0 件	0 件	0 件	0 件
ひばりの	0 件	0 件	0 件	0 件
事務局	1 件	0 件	1 件	0 件

(3) 広報・啓発活動

① 広報紙「ふくしものがたり」等の発行

紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく、関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

内 容	発 行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年6回（262号～267号）	市内全戸
社協会員会費募集広報紙	年1回	



社協広報紙「ふくしものがたり」



社協会員募集広報紙

② ホームページ

最新の情報を閲覧しやすく、また分かりやすく伝えることができるよう、ホームページの運営を心掛けました。



社協ホームページ

③ その他の広報

SNS（ツイッター）を活用し、下妻市の地域福祉に関する情報を随時発信しました。



社協ツイッター

(4) 会員増強運動の実施

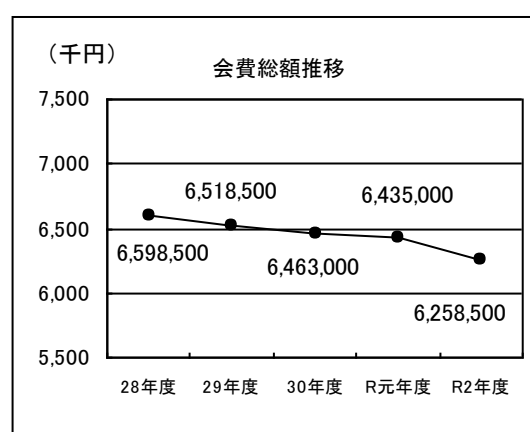
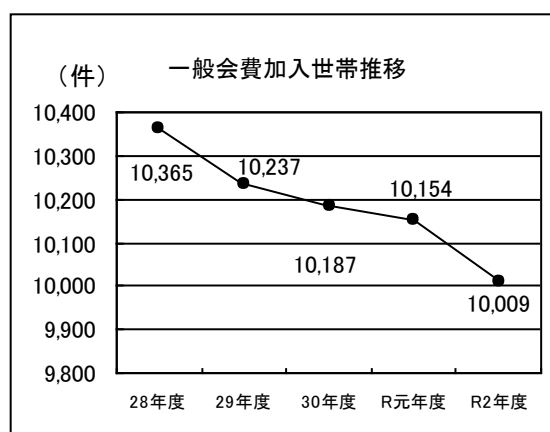
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

<説明会等の開催>

種類	開催	会場	内容	対象者
一般会費	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、説明会の開催を中止 (郵送にて依頼)		取りまとめ依頼 取扱説明	支部推進員
特別会費	7月13日	下妻公民館		支部代表者

<加入実績>

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	10,009世帯	5,004,500円	99.4%
特別会費	213件	1,254,000円	97.6%
計	—	6,258,500円	98.4%



2. 労務管理部門

(1) 職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会主催の研修会に参加しました。

研修内容	延べ参加人数
災害初動期対応チームメンバー養成研修会、 未来の豊かなつながりの為の全国アクションほか	83人 (内31名はオンライン・動画研修)

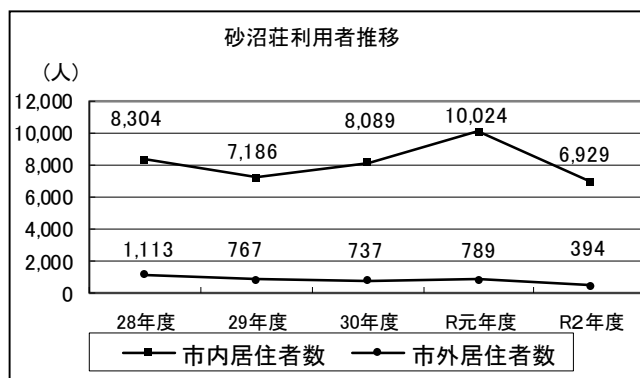
(2) ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。(63人実施)

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

①福祉センター「砂沼荘」

区 分	利用者数
市内居住者	6,929 名
市外居住者	394 名
計	7,323 名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
ちびっこ広場（サロン）	毎月 第 1 火曜日	35 組 75 名
健康体操教室	毎月 第 1・第 2・第 3 水曜日 第 2・第 3・第 4 火曜日	1,115 名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第 3 火曜日	58 名
スクエアステップ教室	毎月 第 2・第 4 火曜日 第 2・4 水曜日	208 名
脳（のう）活（い）きいき教室	毎月 第 1 火曜日 第 1 水曜日	228 名
男性のための脳トレ・筋トレ	毎月 第 3 水曜日	62 名
健康マージャン教室	毎月 第 1・2・3・4 土曜日	186 名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第 4 水曜日	99 名
		計 2,031 名

②下妻市福祉センター「シルピア」

利用団体	利用回数	延利用者
市内 0 団体	0 回	0 名

③下妻福祉センター「シルピア別館」

利用団体	利用回数	延利用者
市内 1 団体	250 回	5,099 名

シルピア別館は、主に放課後児童クラブが利用し、令和 3 年 3 月 31 日付で指定管理が終了となりました。

④下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」「福祉ふれあいハウス」

施設の利用はありませんでした。なお、福祉ふれあいハウスは、令和 3 年 3 月 31 日付で指定管理が終了となりました。

4. 共同募金関係

(1)共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



【地域福祉事業】

1. 相談事業

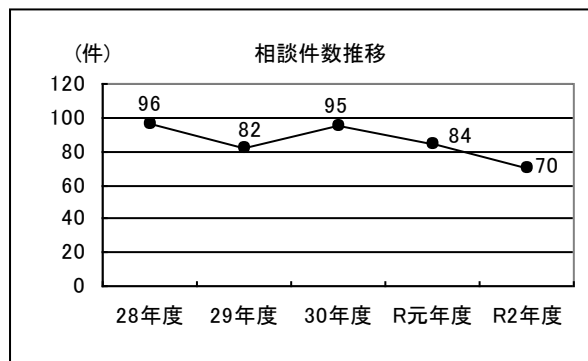
(1) 心配ごと相談事業（市受託事業）

法律相談を月3回開催しました。

<実績報告>

内 容	開 催	件 数
法律相談	30回 (第2・3・4火曜)	70件

※相談員8名・弁護士3名



<相談内容>

相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
借金問題	2件	財産	2件
事故等	0件	隣人	7件
金銭の貸し借り	4件	家族	4件
離婚	7件	友人	0件
子供の養育・親権	0件	職場	4件
住居	1件	相続	19件
土地（不動産）	12件	その他	11件
架空請求	1件	—	—
合計			74件

(2) 乳幼児発達相談事業（ポータル発達相談事業）一部市補助事業

- ・個別指導：毎月5回の指導日を設けました。

相談予定日に来られなかった親子に対し、臨時の相談日を設け対応しました。

年度後半は5回の指導日では足りず、月6回の指導日を設け対応しました。

- ・集団指導：子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、違いを排除することなく共に育つことを目的として指導しています。

開催内容		実施回数	臨 時	実利用者
個別指導	第1木曜	12回	0回	34名 (新規相談者 17名)
	第2木曜	12回	0回	
	第3金曜	12回	1回	
	第4木曜	12回	0回	
	第4水曜	10回	0回	
	第2水曜	3回	0回	
集団指導	第1.2.3.4火曜	34回	0回	37名(親 16名・子 21名)

2. 貸付事業

(1)生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

世帯の経済的自立等を図ることにより安定した生活を送ることができるよう、県社協に指導いただきながら必要な支援を行いました。

資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	6	0	0	6	3
緊急小口資金	4	1	1	4	3
2 教育支援資金					
教育支援費	4	0	0	4	4
就学支度費	3	0	0	3	3
3 総合支援資金					
生活支援費	20	3	1	22	18
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	1	0	0	1	0
要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
計（件）	39	4	2	41	31

(2)新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付（県社協受託事業）

新型コロナウイルスの影響で生活に困窮した世帯に、生計の維持を目的に資金の貸付を行いました。

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	523 件	102,000,000 円
総合支援資金	508 件	265,250,000 円
総合支援資金・延長	159 件	82,500,000 円
総合支援資金・再貸付	156 件	80,550,000 円
計	1,346 件	530,300,000 円

(3)小口資金貸付事業

昨年度と比べ 20 件、623,000 円の貸付増となり、新型コロナウイルスによる影響の大きさが伺えました。

相談件数	貸付	償還	完済件数
55件	36件	55件	22 件
	1,089,000円	719,500円	

未償還金額 3,527,000 円（滞納分を含む） 滞納件数 62 件

3. 相互援助事業

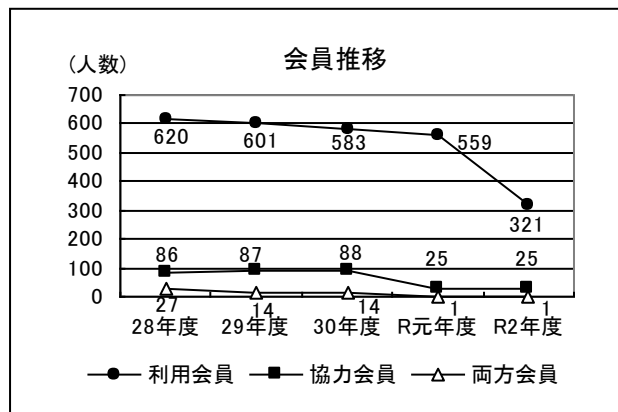
(1)ファミリーサポートセンター事業（うえるきっず含む）市受託事業

うえるきっずの実施場所が、令和2年10月より下妻公民館和室に変更になりました。

①会員の状況及び利用実績

<会員状況>

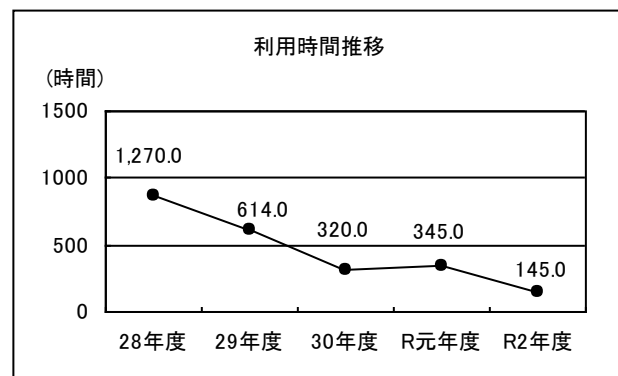
会 員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	559 名	14	252	321 名
協力会員	25 名	0	0	25 名
両方会員	1 名	0	0	1 名
計	585 名	14	252	347 名



<ファミサポ：利用実績>

内容	利用時間
時間内	145.0 時間
時間外	0 時間
割増	0 時間
計	145.0 時間

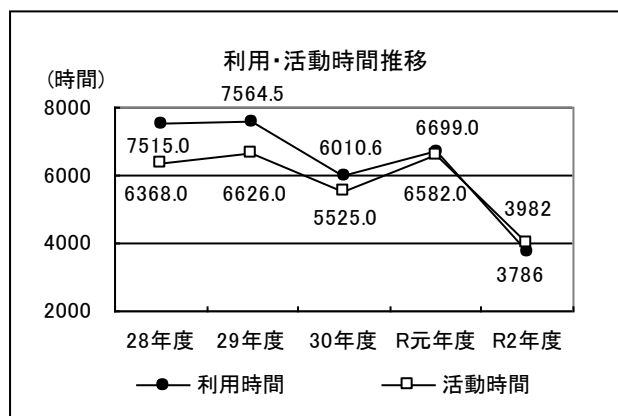
※ファミサポは利用会員宅又は協力会員宅でのお預りのサービス



<うえるきっず：利用・活動実績>

内容	利用時間	活動時間
時間内	3,700.0 時間	3,834.0 時間
時間外	86.0 時間	148.0 時間
計	3,786.0 時間	3,982.0 時間

※うえるきっずは託児施設（社協隣接）でのお預りサービスで、実施場所の移転後、預かり時間が9時～17時に変更になりました。
また新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入れ人数の制限を設けました。



<利用内容及び件数：ファミサポ・うえるきっず合算>

内 容	件 数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	30 件
小学校からの児童の迎え及び預かり	5 件
放課後学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	7 件
保育園や小学校が休みの時の援助	167 件

保育園入所前の援助	178 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	244 件
他の子供の学校行事の場合の援助	20 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	88 件
産後の育児援助	17 件
合 計	756 件

<協力会員定例会>

開 催	会 場	内 容	参 加
R2. 3月16日	うえるきっず託児室	共通理解と意見交換	10名

②協力会員養成講座

開 催	会 場	内 容	参 加
R2 3月16日	うえるきっず託児室	ヒヤリハット共通理解	10名

③子育てひろば事業

<サロン開催状況>

サロン名称	会 場	回数	延べ参加人数
ひまわり会	リフレこかい	0回	0名
親子サークルひまわり	リフレこかい・勤労青少年ホーム	14回	199名

<「子育て支援を考えるワークショップ」の開催>

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためイベントを中止し、市内の子育て世代の方を対象に「防災についての意識調査アンケート」を実施しました。

※特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城（子育て世代を応援するNPO法人）と共催

(2)在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）市受託事業

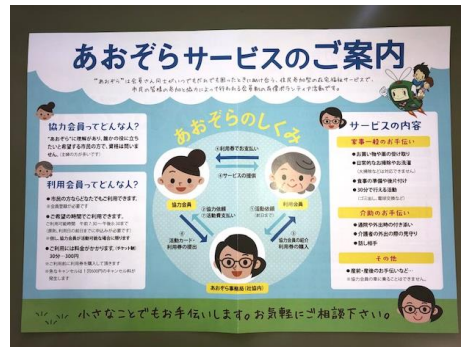
協力会員の資質向上や増員を目的として研修会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

11 月に「あおぞら」のパンフレットを全戸配布し、5 名の増員となりました。利用会員については 28 名の新規登録がありました。

<研修会・交流会>

【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

開 催	内 容	
5月	会員交流会	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止
7月	お掃除	
8月	調理実習	
9月	救急救命講習	



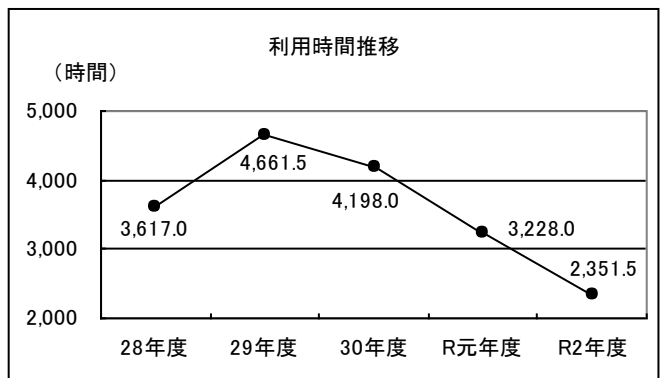
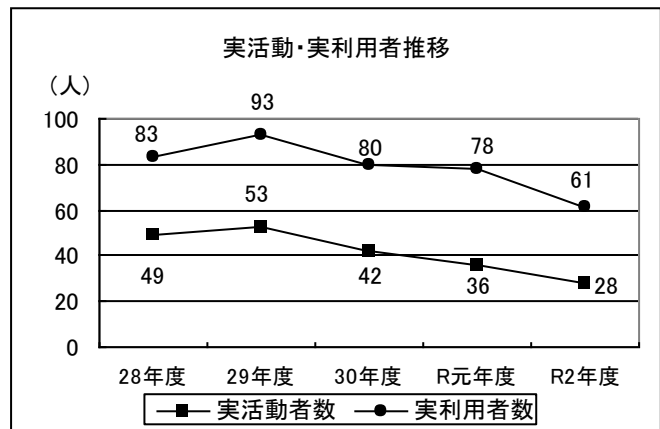
※在宅福祉サービスセンター事業が相互援助の助け合い活動であることをPRするため全戸配布しました。

<会員状況>

利用会員	登録会員	100名
	実利用者	61名
協力会員	登録会員	67名
	実活動者	28名

<利用状況>

内容	計
家事支援	2,119.5時間
話し相手	102.0時間
通院介助	46.5時間
その他	83.5時間
合計	2,351.5時間



4. 生活支援事業

(1) 生活支援事業

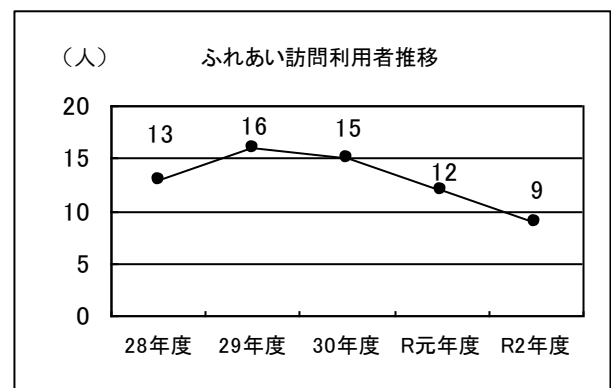
ひとり暮らし高齢者の方を対象に、ふれあいや安否確認を目的とした傾聴訪問、絵手紙やカレンダーのお届けを行いました。

【ふれあい訪問事業】

傾聴ボランティア「よりそい」が2名1組体制で利用者宅への訪問活動を行いました。

<サービス利用者・施設数>

利用者数	利用施設
9名	1ヶ所



【ふれあいお届け事業】

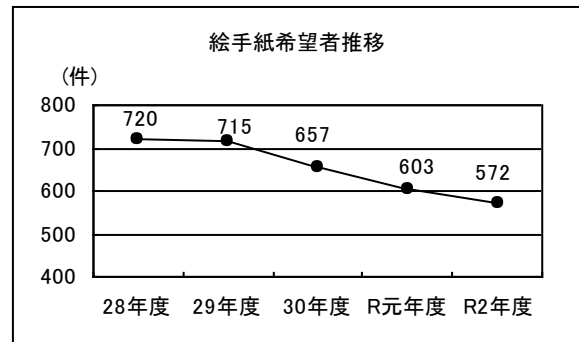
季節感のある絵手紙やカレンダーをお届けしました。

① 絵手紙

実施月	件数
8 月	286 件
12 月	286 件
計	572 件

※書き損じハガキを活用

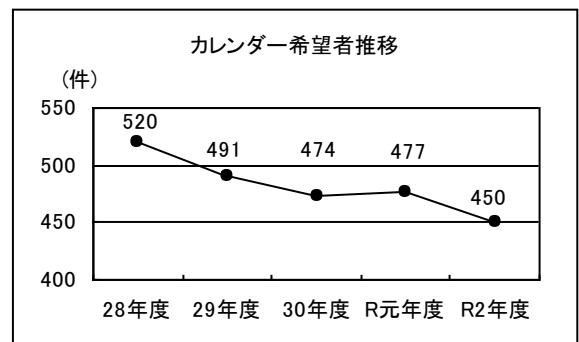
※ボランティアサークルの協力により作成
(絵手紙クラブ コスモス・千代川さくら・
大宝すみれ・ふれあい交流会)



② 社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12 月	450 件

※民生委員児童委員協議会にご協力を
いただき配布しました。



(2) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

本年度8件の新規相談があり、2件契約となりました。

全社協主催の専門員に関する研修会の他、成年後見に関する研修会へ参加し専門員の資質向上及び権利擁護支援の情報収集を行いました。

生活支援員研修会として、外部より講師を招き身寄りのない方の終活支援に関する研修会を開催しました。また、相談者に対し適切な情報提供ができるよう体制を整えました。

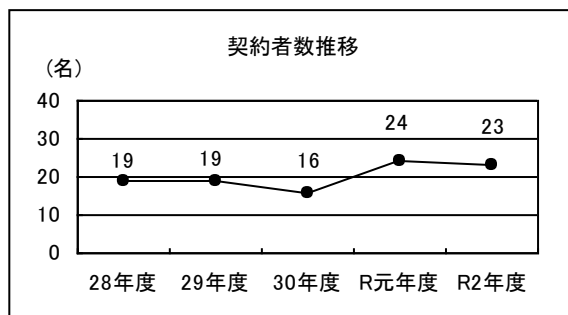
＜研修会・会議への参加＞

開 催	内 容
9 月 25 日	成年後見研修会「権利擁護支援の理解と成年後見制度の基礎知識」など
11 月	日常生活自立支援事業「専門員実践力強化研修会Ⅰ」（オンデマンド配信）
R3 2 月 26 日	成年後見研修会「中核機関業務に係る実践報告」など
3 月 11 日	成年後見研修会「任意後見制度の基礎知識」など
3 月 24 日	生活支援員研修会「身寄りのない方の終活支援」

<契約状況>

内 容	前年 度末	新規 契約	解約	本年 度末
認知症高齢者	12	2	3	11名
知的障害者	4	0	0	4名
精神障害者	9	0	1	8名
その他	0	0	0	0名
計	25	2	4	23名

※契約締結審査会への審査依頼 0 件



<契約者居所>

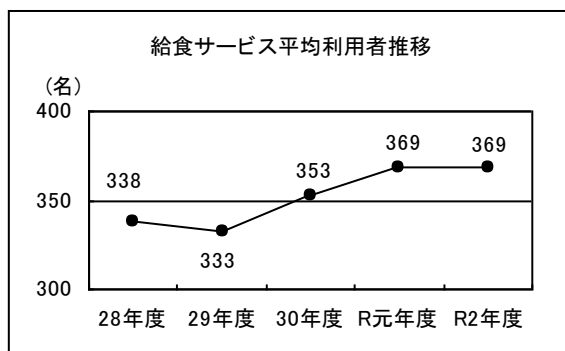
内 容	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計
在 宅	8	2	5	0	15名
施 設	1	2	0	0	3名
病 院	0	0	3	0	3名
グループホーム	1	0	1	0	2名
計	10	4	9	0	23名
生活保護受給者(再掲)	(8)	0	(4)	0	(12名)
書類預かり(再掲)	0	0	(3)	0	(3件)

※生活支援員登録者数 7 名 ※専門員訪問日数 129 日

(3)ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業（市受託事業）

関係するボランティア団体による合同会議を開催し、事業に対する共通理解を図りました。＜※市の業者委託による高齢者配食サービスに移行のため、令和2年9月17日をもって事業終了となりました＞

	開 催	会 場	調 理	配 食	配食数	合 計
下 妻	12回 (4月・5月・6月 ・8月はおにぎり 及びレトルト食 品等の提供)	下妻公民館 調理室	下妻つくし会	望会 サークル みんせい	2,487 食 (平均 207 食)	4,430 食 (平均 369 食) 1 食単価 376 円
東 部		大宝公民館 調理室	東部つくし会		1,095 食 (平均91食)	
千 代 川		千代川公民館 調理室	千代川ボラン ティア会		848 食 (平均71食)	



給食サービスの様子

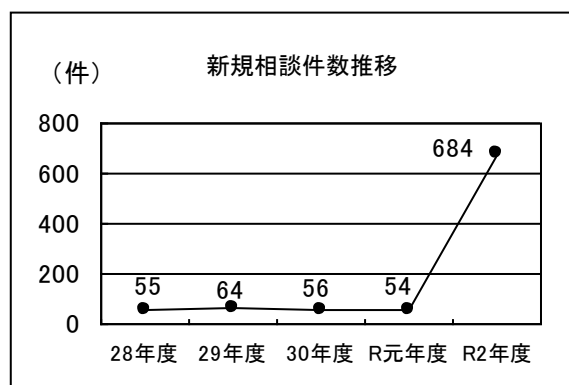
(4)生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

離職者等に対し、住居確保給付金制度（家賃相当分の給付）の活用を含め、ハローワークと連携しながら就職活動の支援を行いました。

また、新型コロナウイルスの影響を受け収入が減少した世帯に対し、生活費の貸付につながるよう支援を行いました。

- ・給付金対象者、定期面談回数 607 件（年間延数）
- ・決定者 45 名中 13 名は一般就労、20 名は増収につながりました。

年間新規相談件数	684 件
住居確保給付金申請数	45 件
住居確保給付金決定数	45 件



(5)食糧支援事業

離職や休業等、様々な理由で生活に困窮する世帯への緊急・一時的な食糧支援を行うため、備蓄できる食糧品（お米、レトルト食品等）の寄付を募った結果、たくさんの食糧品をご寄付いただき、61 世帯、4 施設に配布することができました。

①年末年始に向けた食糧支援

年末年始を迎えるにあたり、食糧支援を希望する方々に、市民（38 名）の方から寄せられたお米やレトルト食品と併せ、赤い羽根共同募金を財源に購入したおかずなどを、67 名の方に配付しました。



②ひとり親世帯への支援

児童扶養手当を受給されているひとり親世帯のうち、申込みのあった 247 世帯に、市内の 8 企業、3 団体及び市民（18 名）の方々から寄せられた食糧品や日用品、赤い羽根共同募金や住民生活応援助成金（県社協）を活用し購入した食品を詰めた「にこにこ 294(ふくい)セット」を配付しました。



5. 社会参加・交流事業

緊急事態宣言の発令に伴い、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、各事業において休止期間を設け実施しました。

(1) まちなかサロン事業（市受託事業）

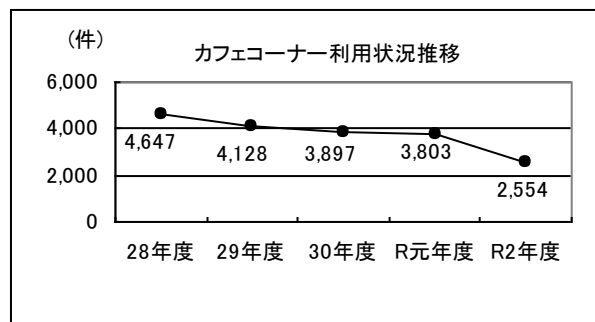
コミュニティーカフェ「ぷらっとほーむ」において、子供から大人まで誰もが気軽に立ち寄れる交流スペースとして、1階では軽食やドリンクの提供の他、レンタルボックスによる雑貨販売を行いました。2階では、仲間づくりや健康づくりのための講座を開催し、多世代の交流の場所の提供に努めました。

< 1階スペース >

営業日数	延利用者数	平均利用者数
191 日	2,554 名	13.4 名

営業時間：10:00 ～ 16:00

定休日：土曜日・日曜日



1階スペース



レンタルボックス

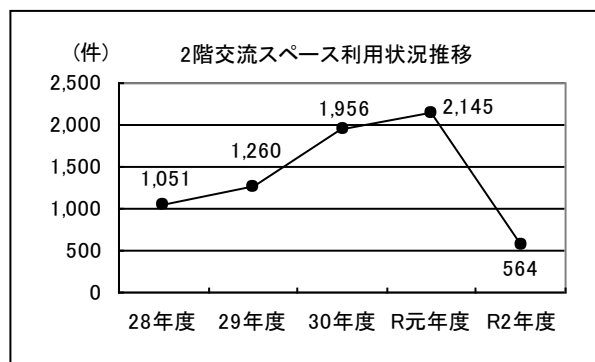
< 2階交流スペース >

子育て世代から高齢者までを対象とした講座を開催しました。

講座回数	延利用者数
74 回	564 名

【定期講座】

- ・シルバーリハビリ体操
- ・スクエアステップ
- ・健康&美容ヨガ
- ・わくわくひろば
- ・親子リトミック
- ・学習支援寺子屋（市受託事業）



(2) サロン事業

①サロンの開催に際し、感染拡大防止に向けた注意を促しました。

＜ふれあいサロン開設状況＞ 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
砂子いきいきサロン	砂子	12名	1回	8名
小友会	小野子	19名	22回	169名
あおばずくサロン	西町・旭陣屋	27名	5回	74名
坂本いきいきサロン	坂本	10名	3回	17名
いきいきサロンさぬま	長塚	13名	8回	79名
サロン陽だまり	大宝	37名	13回	173名
比毛サロン	比毛	17名	3回	27名
鎌庭西菊寿会	鎌庭西	17名	2回	24名
食と健康サロンin三新	三道地	40名	64回	659名
上宿お楽しみ会	上宿	16名	3回	41名
さくら会（障害者の会）	市内	6名	休 会	

＜ふれあいいいきいきサロン連絡会・研修＞

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

②介護予防を目的としたスクエアステップエクササイズをボランティア団体である下妻スクエアステップの会が主体となり実施しました。

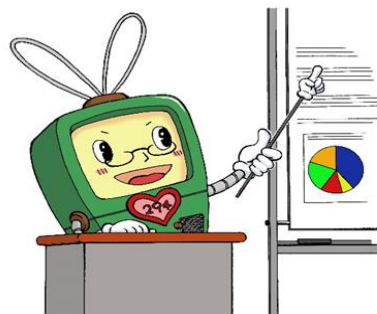
場 所	会員数	回数	参加人数（延べ）
ぷらっとほーむ	17 名	6 回	66 名
砂沼荘	30 名	13 回	208 名
千代川公民館	39 名	6 回	140 名
大宝公民館	17 名	3 回	40 名
リフレ こかい	9 名	3 回	20 名
横 根	13 名	7 回	63 名
平川戸	16 名	2 回	27 名

(3) 学習支援寺子屋（市受託事業）

- ・毎週月曜日午後 3 時から午後 6 時の時間帯で開催しました。
- ・市内在住、在学の小学校 4 年生から中学 3 年生までを対象とし、新型コロナウイルス感染防止対策として人数制限を設けながら開催しました。

＜開催数 31 回＞

利用者	延人数	97 名
	実人数	12 名
	登録者数	8 名
ボランティア	延人数	68 名
	実人数	20 名
	登録者数	12 名



6. 助成金交付事業

(1) 地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

< 助成実績 >

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
第1期	1	非常時の電源確保事業	原北自治区自主防災会	165,000 円
	2	非常時及びイベント時の日よけ・雨除け確保事業	福代地自治区	200,000 円
	3	楽しく学ぶ英会話	フリーセンス	14,160 円
第2期	1	砂子自治会テント購入	砂子自治会	133,600 円
	2	まちづくり推進委員ユニフォーム作成	蚕飼地区まちづくり推進委員会	70,400 円
第3期	0	申請なし		0 円
計				583,160 円



非常時の電源確保事業



楽しく学ぶ英会話



砂子自治会テント購入



まちづくり推進委員ユニフォーム作成

(2) 地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

※N○1～3の事業については新型コロナウイルスの影響で未実施の為、返金となりました。

＜助成実績＞

No.	申請事業	決定額
1	「総上」納涼盆踊り&屋台村	100,000 円
2	かみつま朝市開催事業	100,000 円
3	「とばのえ」子ども夏まつり事業	100,000 円
4	たまり場「ゆい」運営事業	80,000 円
計		380,000 円

(3) 活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

＜団体助成金＞

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,840,000円
自治区長連合会	1件	320,480円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合 計	10件	2,446,140円

7. 災害・緊急支援事業

＜火災見舞金＞

件数	金額
2件	70,000円

＜行路人旅費＞

件数	金額	償還
1件	500円	0円

※ 火災見舞金の内 30,000 円は学用品代として支出

【ボランティアセンター事業】

今年度は新型コロナウイルスの影響により、昨年度と比較しボランティアに関する相談件数や福祉教育の実施件数は縮小し、感染対策予防の観点から講座・交流会、各種イベントの開催は中止としました。

緩和後への備えとし、ボランティアセンター事業の存在と事業内容を広く周知すべく、年度目標であったパンフレットを作成し全戸配布しました。福祉教育支援事業に関しては高齢者疑似体験にて使用するセットを追加で揃え、大人数への対応を可能としました。

また善意銀行では食料品に関する寄付募集の広報を強化し、困窮者や児童扶養手当を受給されているひとり親世帯への支援に役立てました。



「ボランティアセンター事業パンフレット」

「支援で使用したお米」

1. 相談・登録・紹介

①ボランティアの状況

種 別		団体数	会員数
登 録	個人	—	57名
	団体	25団体	673名
把握（届出）団体		11団体	970名
計		36団体	1,700名

②ボランティアの相談・登録・紹介

内 容	件数
ボランティア活動希望	11件
ボランティア活動依頼	3件
講師・指導者の紹介	0件
福祉教育支援・他	26件
活動者相談・情報提供	35件
保険・物品・その他	3件
計	78件

③ボランティア保険加入状況

種 別	加入者数	助成額
登録団体・個人 加入者	539名	107,800円
把握団体・個人 加入者	1,081名	—
計	1,620名	107,800円

2. 広報・啓発

- ・パンフレットの作成や広報紙等を通じ、ボランティアセンターをPRしました。
- ・学校での福祉教育の場において災害ボランティアセンターをPRしました。

開催	内 容	対 象	参加
10月29日	県社協 R2 福祉教育推進セミナー 「子どもたちの地域参加に向けて」	教職員、教育委員会・教育機関関係者、行政・社協職員	53名
11月27日	東部中学校「防災教室・災害VC PR」	2 学年生徒	99名
12月 4日	騰波ノ江小学校「福祉講話」見学受け入れ	石岡市社会福祉協議会職員	2名
12月10日	千代川中学校「防災教室・災害VC PR」	1 学年生徒	82名

3. 参加・育成

(1)ボランティア養成事業

共に生きる力を育む福祉教育の一環として開催していた「夏休みちょこボラ企画」と新たに夏休みの小学生親子を対象としたボランティア体験企画、地域課題である高齢者

や障害者の移動手段を解決するための移送サービスに関わる講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	助成件数	助成額
サークル	13団体	385,000円
学 校	12校	415,000円
ボ連協	1団体	50,000円
計	26件	850,000円

※下妻ボランティア連絡協議会
(16サークル加入)

(3) 福祉教育支援事業

東部中学校と千代川中学校で河川洪水氾濫に関する防災教室として、下妻市のハザードマップを基にマイ・タイムライン作成講座を実施しました。一人ひとり、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理しタイムラインを作り、自らが考え、検討するきっかけを提供しました。

県社協主催 令和2年度「福祉教育推進セミナー」へシンポジストとし参加し、「子どもたちの地域参加へ向けて」のテーマの基、「夏休みちょこボラ企画」と福祉教育支援事業について発表しました。また石岡市社協より依頼のあった「福祉講話」の視察を受け入れ、啓発に努めました。

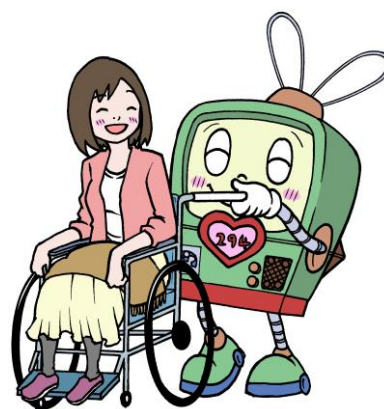
大人数での講習に対応できるよう、高齢者疑似体験セットを新たに3セット購入しました。(合計で26セット備蓄)

【下妻中学校を除く市内小学校9校、中学校2校で実施】

種別	マイ・タイムライン	手話	点字	シニア	車いす	盲導犬	昔語り	講話	その他	計
実施件数	2	3	3	0	0	1	3	4	3	19件
体験者数	127	118	161	0	0	50	114	134	215	919名
V協力延数	4	16	14	0	0	1	3	—	11	49名



マイ・タイムライン作成（千代川中学校）



(4) 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	18件	717,773円

種 類	使途内容	預託件数	数 量
古切手	公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会へ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	144件	59,420枚 (12月預かり分より数の把握終了)
書き損じハガキ	官製ハガキに交換しひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	25件	233枚 (12月預かり分より数の把握終了)
預託品 (未使用タオル、 大人用紙おむつ他)	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てられます	51件	
食料品	生活困窮者の支援に役立てられます	59件	



寄付いただいたお米



お米を袋詰めする様子

(5) 災害ボランティアセンター

- ・行政や関係機関の協力のもと、令和元年度に策定した「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を基に、災害ボランティアセンター開設までの具体的な流れや職員の役割を明確にするため、全職員を対象に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、今後起こり得る広域的・同時多発的な災害の初動期に備えました。
- ・拠点とする砂沼荘へ倉庫 2 基を新たに設置し、災害ボランティアセンターで使用する資機材等を購入、整備しました。
- ・小、中学校で行う福祉教育において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



4. ボランティアの連携・交流

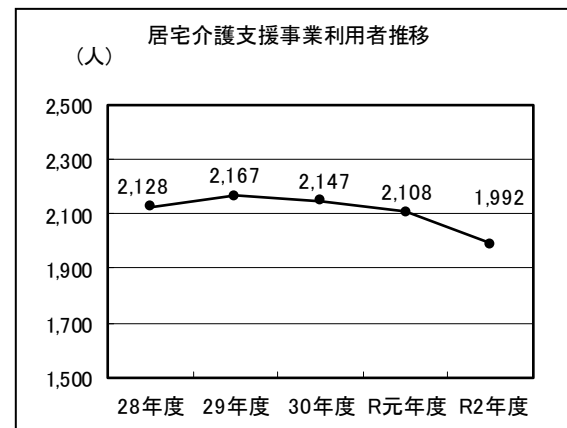
地域における健康づくりの担い手である「下妻スクエアステップの会」の会員交流会とボランティア連絡協議会の事業「砂沼を歩こう会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

- ・主任介護支援専門員を増員し体制の強化を図りました。

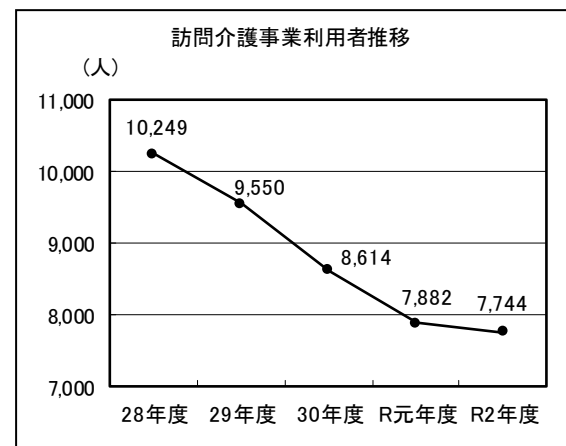
区分	延べ利用者
要支援 1	82 名
要支援 2	167 名
要介護 1	550 名
要介護 2	516 名
要介護 3	388 名
要介護 4	170 名
要介護 5	119 名
計	1,992 名



2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

- ・常勤職員を 1 名採用しサービス提供責任者を増員するなど体制の安定化を図りました。

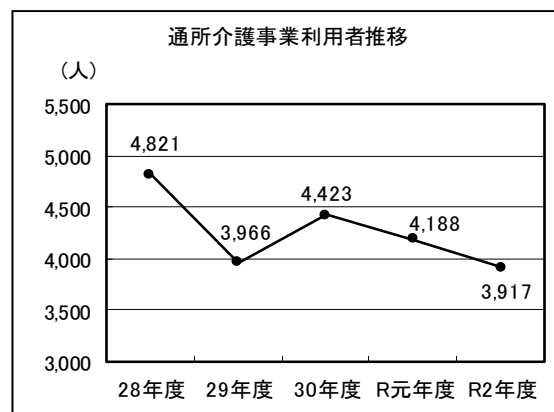
区分	延べ利用者
要支援 1	391 名
要支援 2	323 名
要介護 1	927 名
要介護 2	2,390 名
要介護 3	1,185 名
要介護 4	1,374 名
要介護 5	1,154 名
計	7,744 名



3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業

- ・コロナ禍の影響もありレクリエーション活動の充実を図りました。
- ・業務内容の見直しなど改善の取り組みを行ないました。

区分	延べ利用者
要支援 1	5 名
要支援 2	174 名
要介護 1	1,363 名
要介護 2	1,268 名
要介護 3	861 名
要介護 4	238 名
要介護 5	8 名
計	3,917 名

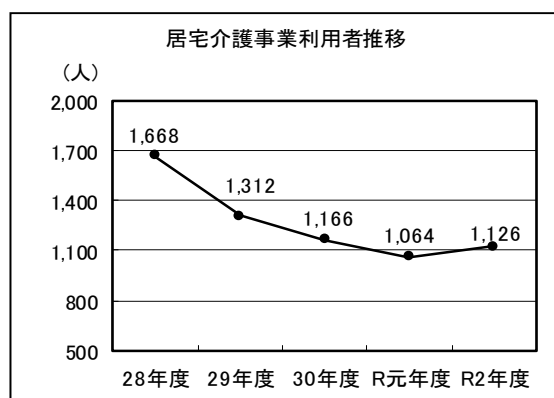


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業

- ・相談支援専門員など関係機関との連携を図りサービスを提供しました。

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	112 名
区分 3	38 名
区分 4	581 名
区分 5	0 名
区分 6	395 名
児 童	0 名
計	1,126 名



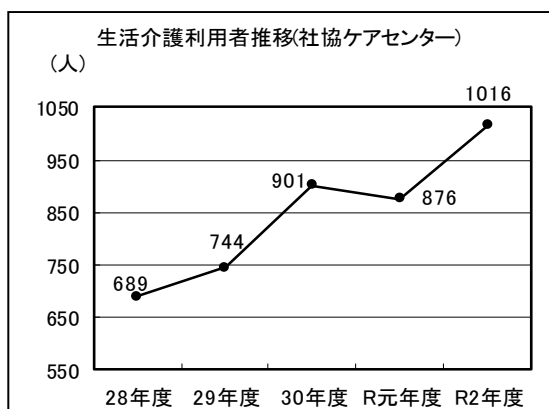
2. 重度訪問介護事業・行動援護事業

- ・両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 生活介護事業

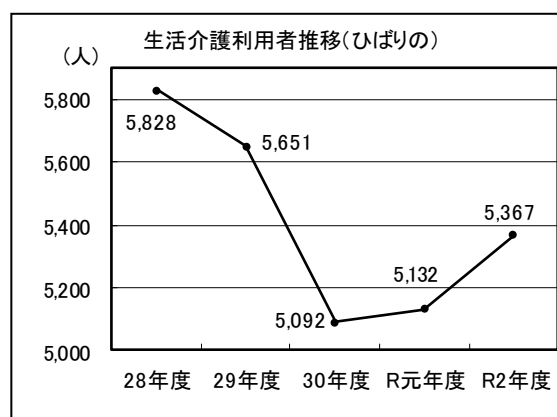
- ・体制及びサービスの向上を念頭に取り組みました。(社協ケアセンター)
 - ・退所者は1名ありました。新規利用者2名(ひばりの)
- <社協ケアセンター>

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	191 名
区分 4	102 名
区分 5	312 名
区分 6	411 名
計	1,016 名



<ひばりの>

区分	延べ利用者
区分 1	0 名
区分 2	0 名
区分 3	443 名
区分 4	1,740 名
区分 5	1,588 名
区分 6	1,596 名
計	5,367 名



4. 就労移行支援事業

- ・就労移行支援利用実績はありませんでした。(令和 3 年 3 月 31 日にて事業終了)
- ※平成 28 年度から令和 2 年度までの実績はありません。

5. 相談支援事業

- ・対象となるケースがなかったため、実績はありませんでした。
- ※平成 28 年度から令和 2 年度までの実績はありません。

6. 障害者日中一時支援事業

- ・特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりの実績はありませんでした。

利用者数	延べ利用者数
0 名	0 名

